



昭和中だより

ハートフル昭和

<http://www.city.akishima.ed.jp/~showa/>



令和8年1月30日

第9号

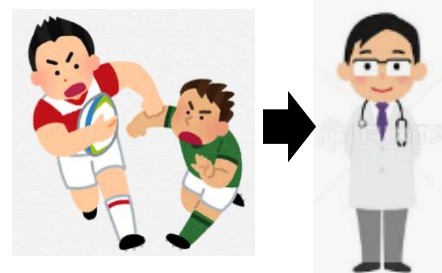
昭島市立昭和中学校
校長 渡部 尚

可能性を信じて！

新年を迎えて1か月が経ちました。この時期、多くの3年生が受験に挑み始めています。3年生の皆さんにとっては、人生で初めての受験という人も多いでしょう。不安を感じるのは当然ですが、「やればできる！」という前向きな気持ちで、悔いの残らないよう精一杯頑張してほしいと思います。

さて、今回は、受験に向けて努力を続ける3年生のみなさんに向けて、挑戦を続ける2人のアスリートの姿を紹介しながら、可能性を信じて頑張ることの大切さについて考えてみたいと思います。

まず紹介するのは、元ラグビー日本代表で、2019年のワールドカップで大活躍し、一躍脚光を浴びた福岡 堅樹（ふくおか けんき）さんです。彼は幼い頃から「医師になりたい」という夢を抱いていました。ラグビーのトップ選手として活躍しながらもその夢を手放すことなく、「医療で社会に貢献したい」との思いから、現役引退後には超難関の医学部受験に挑戦。見事合格し、33歳になった今、医学部5年生として実習に励んでいます。



もう一人は、サッカーJリーグ・FC町田ゼルビアに所属する林 幸多郎（はやし こうたろう）選手です。彼は現役のプロサッカー選手として活躍する一方で、弁護士を目指して司法試験の勉強を続けています。練習後の疲れた身体で机に向かい、時には4～5時間も勉強する日があるそうです。厳しい競技生活と法律の学びを両立するのは決して簡単ではありませんが、林選手は「どちらも自分の夢だから」と前向きに努力を重ねています。



この二人に共通しているのは、自分の可能性を信じ、挑戦し続けている点です。疲れていても、気持ちが乗らなくても言い訳を作らず、努力を続けることで目標の景色を見ることに近づきます。3年生の皆さんも、ぜひ「成し遂げた先の景色」を思い描いてみてください。例えば、合格発表の日にインターネット上で自分の番号を見つけた瞬間や、合格を喜んでくれる周りの人たちの表情など、ポジティブな未来を想像することが、やる気を高める力になります。また、もし思うような結果にならなかったとしても、「一生懸命やったの結果は仕方ない」くらいの心の持ちようも必要です。以前紹介した、レジリエンスにつながる思考ですね。

福岡さんや林選手のように、自分の可能性を信じ、前向きな気持ちで未来を切り開いていくことを心から応援しています。皆で受験を乗り越えよう！頑張れ、3年生。

2月 行事予定

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	日	移動教室（1年）始	17	火	避難訓練 専門委員会
2	月	移動教室（1年）2日目	18	水	
3	火	移動教室（1年）終	19	木	中央委員会
4	水	移動教室振休（1年）	20	金	お弁当の日
5	木	ESAT-J（year 1・2）	21	土	都立一次学力検査
6	金		22	日	
7	土		23	月	天皇誕生日
8	日		24	火	
9	月	朝礼 安全指導	25	水	学年末テスト（1日目）
10	火		26	木	学年末テスト（2日目）
11	水	建国記念の日	27	金	学年末テスト（3日目）
12	木	小中連携の日（⑤⑥カット）	28	土	
13	金	救急救命講習会（2年）			
14	土				
15	日				
16	月	生徒会朝礼 職員会議			

- 新年を迎え、学校全体が良いスタートを切ることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。
- 昭島市新春駅伝競走大会では、保護者の皆様のあたたかいご声援、ありがとうございました。また、地区連絡会の皆様からは、参加生徒への差し入れをいただきました。お礼申し上げます。
- 1／30（金）は2年生の校外学習、そして2／1（日）～3（火）まで、1年生のスキー移動教室になります。楽しく学びのある学習になるよう、気を付けて行ってまいります。
- 2／20（金）はお弁当の日になります。ご準備をお願いいたします。
- 3年生は受験（検）が本格化します。現在、本校ではインフルエンザなどの感染症は流行していませんが、保護者の皆様も含め、健康管理には十分お気を付けください。

